

フットスイッチ FS1P1・FS1P2・FS1P3 クイックスタートガイド

株式会社エジクン技研が開発、販売しているフットスイッチには、キーボードのキー、マウスのボタンなどを設定することができます。この設定は、パソコン上で実行されるプログラムによって行われ、設定内容はフットスイッチ本体のメモリに記憶されます。設定方法には標準設定と高度設定がありますが、本ガイドは標準設定まで説明しています。高度設定を行う場合、下記にある取扱説明書をご覧ください。

https://www.edikun.co.jp/edikun-footswitch/edikun_footswitch_manual.pdf

A はじめに

(1) フットスイッチ FS1P1・FS1P2・FS1P3 は、日本国内において日本語 Windows 上で開発され、日本語入力に完全対応しています。また、キーボード入力、マウス入力、キーボードとマウスの組み合わせ入力のありとあらゆるものを行うことができます。

ペダルが1つのタイプ FS1P1、ペダルが2つのタイプ FS1P2、ペダルが3つのタイプ FS1P3 の3タイプがあります。

(2) ペダルには、工場出荷時に次に示す内容が設定されています。FS1P1 ではマウスの左クリックです。FS1P2 では、左ペダルにキーボードの Enter キー、右ペダルにマウスの左クリックです。FS1P3 では、左ペダルにキーボードの Enter キー、中央ペダルにマウスの左クリック、右ペダルにマウスの右クリックです。

この内容を変更する必要がない場合、以下の手順は必要ありません。フットスイッチをお客様のパソコンの適当な USB ポートに接続して下さい。しばらくするとパソコンに認識され、使用を開始することができます。

なお、パソコンにある標準的なドライバ(HID)を使用しますので、新たにドライバをインストールする必要はありません。

(3) 各ペダルの設定を行う(プログラミングする)ことは、Windows パソコンでのみ行うことができます。しかし、設定した後のフットスイッチは、USB ポート(USB2.0 またはそれ以降)を備えた Mac でも使うことができます。

なお、Mac の Command キーは Windows の Windows キー、Mac の Option キーは Windows の Alt キーに対応しています。例えば、Mac で半角と全角を切り換えるのは Command キー+Space キーですが、これを設定するには、Windows パソコンを使って、後述する標準設定の方法により、Windows キー+Space キーを設定して下さい。

(4) このフットスイッチは RoHS 指令対応です。

B メインウィンドウ

設定を工場出荷時のものから変更するには、Windows XP 以降の Windows パソコンに接続して、以下の手順を行って下さい。

(1) フットスイッチ設定用のプログラムを下記からダウンロードして下さい。



<https://www.edikun.co.jp/support/footswitch.zip>

zip ファイルに圧縮されていますので、解凍して、プログラム **FootSwitch.exe** を得て下さい。パソコンの保護機能が働くかもしれませんが、「詳細情報」をクリックするなどして進めて下さい。このプログラムをお客様のパソコンの適当なフォルダの中やデスクトップの上にコピーして下さい。アイコンをダブルクリックするか、「ファイル名を指定して実行」などにより、**FootSwitch.exe** を実行して下さい。上のメインウィンドウが表示されます。

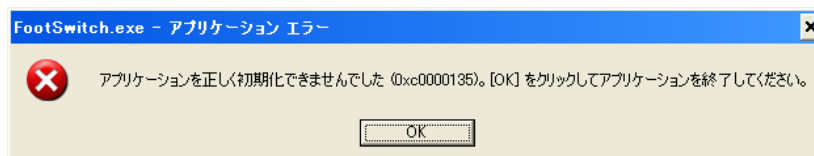
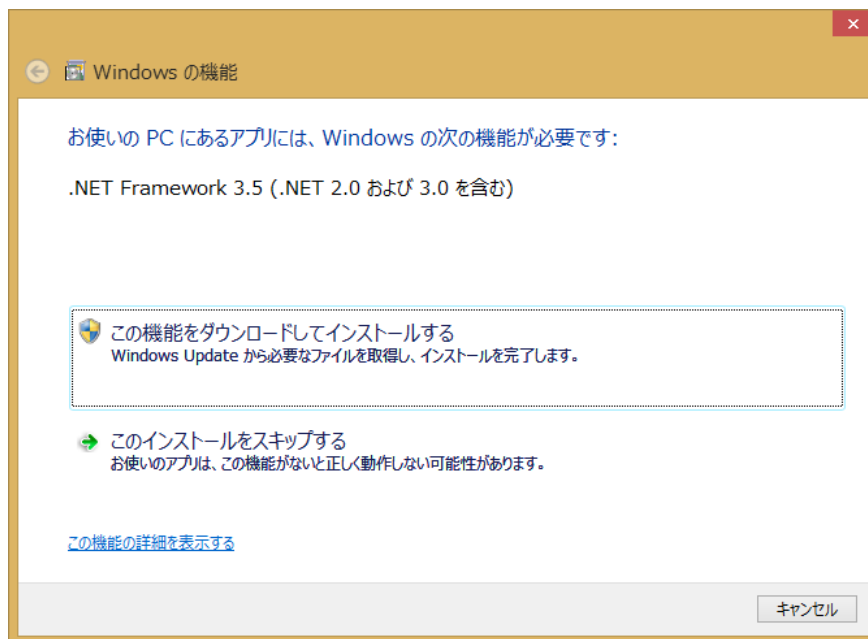
なお、この文書では Windows 8.1 の画面を使って説明しています。他のバージョンの Windows や、適用したサービスパック番号や環境により、異なる画面が出たり、設定の順番が異なる場合もあります。

また、このプログラムはインストールする必要はありません。

(2) ここで、右のようなメッセージが表示された場合、「.NET Framework」をパソコンに入れる必要があります。ここでは2つの例を示します。

.NET Framework は、通常は Windows Update から入れることができます。お客様のパソコンの設定によっては、「重要な更新プログラム」には含まれておらず、「オプションの更新プログラム」を選ぶ必要がある場合もあります。

Windows Update から入れることができなかった場合、例え

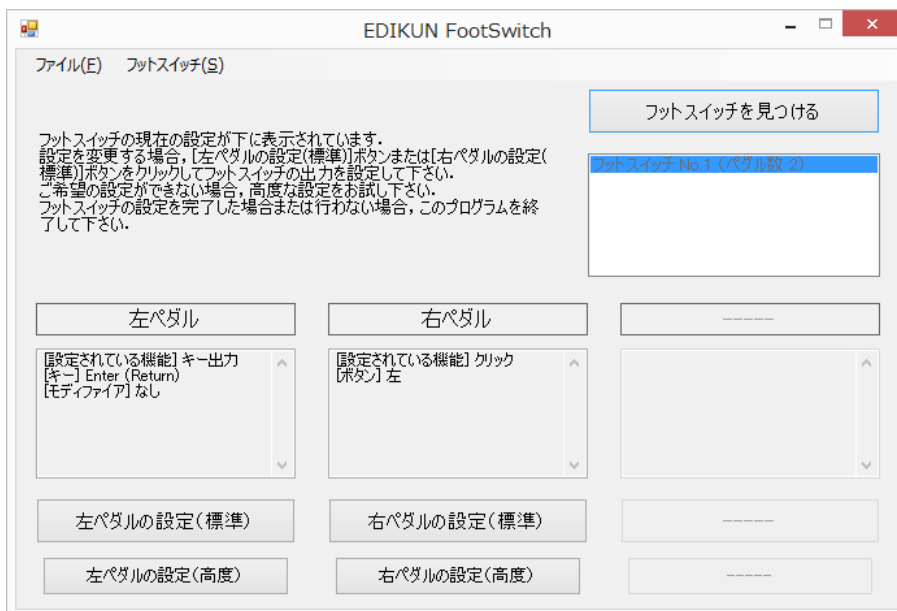


ば下記を参照して下さい。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=21>

(3) フットスイッチをまだ接続していない場合、ここで接続して下さい。パソコンに認識されるまで、しばらくお待ち下さい。

(4) 前ページのウィンドウで、[フットスイッチを見つける]ボタンをクリックして下さい。ウィンドウは、右のように変わります。なお、これはペダルが2つのタイプ FS1P2の例です。ウィンドウ中ほどには、フットスイッチの各ペダルに設定されている内容が表示されます。



(5) 2台以上のフットスイッチを接続した場合、右のようなウィンドウになります。ウィンドウの右上にあるリストボックスに、お客様のパソコンに接続されているフットスイッチが並んでいますので、どれか1つを選択して下さい。



リストボックスに並んでい
るフットスイッチのどれか
1つを選択すると、右の
ようなウィンドウになりま
す。

ここで選択したフットスイ
ッチのペダルを押すと、
下に示すようにメインウ
ィンドウ上の対応する部
分が赤くなります。選択
されていないフットスイ
ッチのペダルを押しても
赤くなりません。この機

能により、どのフットスイッチを設定しようとしているのか明確になりますので、特にたくさんのフットスイッチを接続している場合に便利だと思います。

なお、接続したフットスイ
ッチが1台の場合も、ペ
ダルを押すと、メインウ
ィンドウ上の対応する部
分が赤くなります。後述
する標準設定ウィンドウ
や高度設定ウィンドウ
(取扱説明書ご参照)を
開いていても、メインウ
ィンドウ上の対応する部
分が赤くなります。

また、ペダルを押すと、
そのペダルに設定され

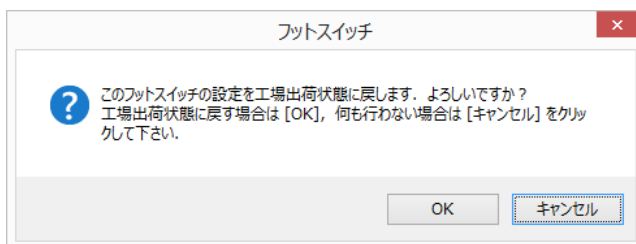
ているキーボードまたはマウスの信号がパソコンに向けて出力されますのでご注意ください。メインウィンドウ上の対応する部分が赤くなる機能を使う場合、メモ帳ソフトなどで新しいテキストファイルを開き、キーボードやマウスからの信号がメモ帳ソフトに行くようにしておけば安全です。

標準的でない信号を設定された場合、対応する部分が赤くならないこともあります。

なお、フットスイッチは127台まで接続することができます(他の USB 機器が存在しない場合)。

(6) 後述する方法でフットスイッチのペダルに
いろいろな設定を行う(プログラミングする)こ
とができます。こうした設定を元に戻すには、「フ
ットスイッチ」メニューから「工場出荷状態に戻
す」を選択して下さい。

右のメッセージが表示されますので、[OK]をク



リックすると、フットスイッチの設定が工場出荷時の初期状態に戻されます。

なお、工場出荷状態は下記の通りです。

FS1P1: マウス左クリック

FS1P2 左ペダル: キーボード **Enter** キー 右ペダル: マウス左クリック

FS1P3 左ペダル: キーボード **Enter** キー 中央ペダル: マウス左クリック 右ペダル: マウス右クリック

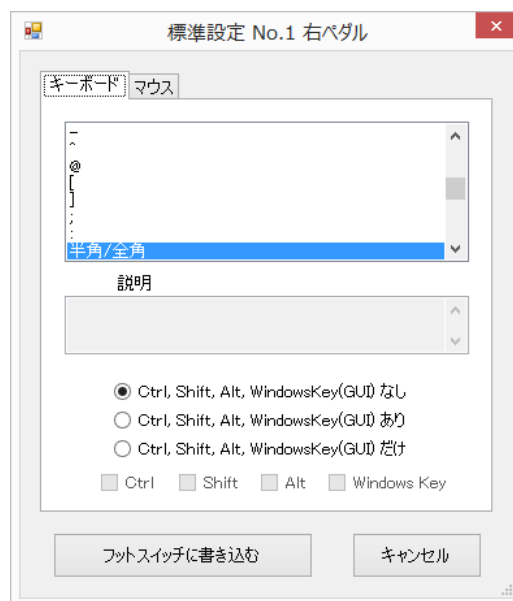
(7) メインウィンドウを閉じてこのプログラムを終了するには、「ファイル」メニューから「終了」を選択するか、ウィンドウ右上の閉じるボタン([X]ボタン)をクリックして下さい。

C 標準設定

(1) メインウィンドウで、例えば[右ペダルの設定 (標準)]ボタンをクリックすると、右の標準設定ウィンドウが表示されます。

このウィンドウ内に最初に表示される内容は、フットスイッチのメモリに記憶されているものです。例えば、右のように表示された場合、「キーボードのキーを出力、キーの内容は[半角/全角]、Ctrl, Shift, Alt, WindowsKey(GUI)は使わない」という内容がメモリに記憶されています。

なお、ウィンドウのタイトル(一番上の部分)に表示されている「No.1」は、2台以上のフットスイッチが接続されている場合に、それらを区別するための番号です。フットスイッチが1台だけ接続されている場合、この番号は表示されません。



(2) 標準設定ウィンドウでいろいろな選択を行った後、[フットスイッチに書き込む]ボタンをクリックすると、選択した内容がフットスイッチのメモリに書き込まれます。パソコン側ではなく、フットスイッチ側に書き込まれるため、別のパソコンに接続しても大丈夫です。

メモリへの書き込みが正常に完了すると、右のメッセージが表示され、設定が正常に終わったことが伝えられます。ペダルが複数ある機種 **FS1P2・FS1P3** の場合、どのペダルの設定なのかも表示されます。

メッセージを確認し、[OK]ボタンをクリックすると、メインウィンドウに戻ります。他のペダルを設定する必要がなければ、メインウィンドウも閉じて下さい。

必要な選択がすべてなされていない場合、[フットスイッチに書き込む]ボタンは色が薄くなっており、クリックすることはできません。例えば、ラジオボタン[Ctrl, Shift, Alt, WindowsKey(GUI) あり]が選択されていて、それらのチェックボックスが1つも選択されていない場合です。



(3) 標準設定ウィンドウで[キャンセル]ボタンをクリックすると、標準設定ウィンドウが閉じられ、メインウィンドウに戻ります。フットスイッチへの設定は行われず、フットスイッチのメモリの内容は変わりません。標準設定ウィンドウの右上の閉じるボタン([X]ボタン)をクリックした場合は、[キャンセル]ボタンの場合と同

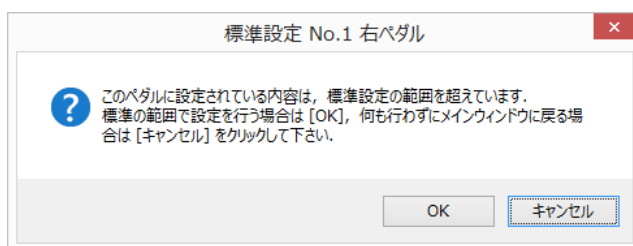
じです。

(4) 標準設定では、キーボードのキーと、マウスのクリックを設定することができます。これらは、[キーボード]タブと[マウス]タブをクリックすることにより、選択することができます。

キーボードでは、日本語ウィンドウズで使うほとんどすべてのキーを設定することができます。モディファイア(Ctrl キー、Shift キー、Alt キー、ウィンドウズキー)を付加することもできます。

マウスでは、左ボタン、右ボタン、中央ボタンのクリックと、左ボタンのダブルクリックを設定することができます。

(5) なお、高度設定(取扱説明書ご参照)でしか設定できない内容が対応するペダルに設定されているときに、標準設定ボタンをクリックすると、右のメッセージが表示されます。対応するペダルのメモリを標準の範囲のものに書き換える場合は[OK]ボタンをクリックして下さい。何も行わずにメインウィンドウに戻るには[キャンセル]ボタンをクリックして下さい。



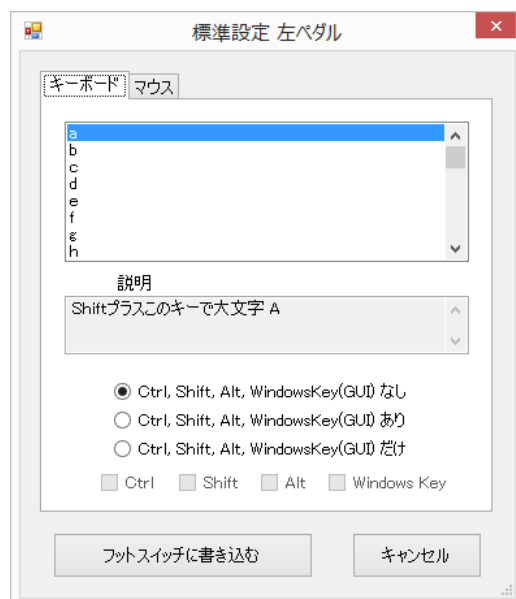
ここで[OK]ボタンをクリックしても、[フットスイッチに書き込む]ボタンをクリックするまでは、メモリ内容に変更はありません。

C-1 キーボードのキーの設定

(1) [キーボード]タブをクリックすると、標準設定ウィンドウは例えば右のようになります。ウィンドウ上部のリストボックスでキーを選択すると、その説明が「説明」欄に表示されます。説明が表示されないキーもあります。

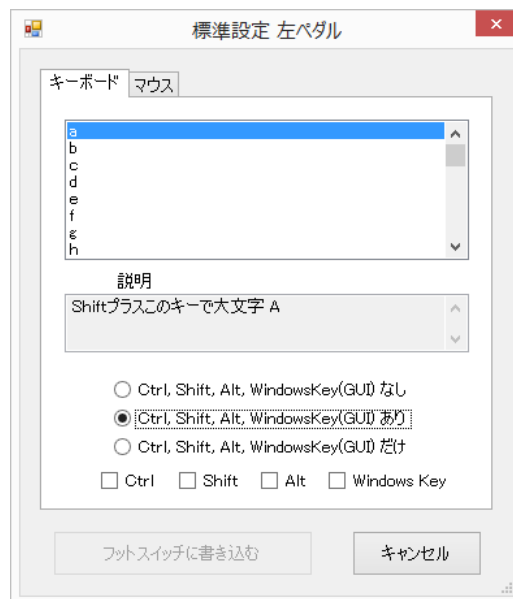
標準設定における「キーボードのキーの設定」では、日本語 Windows で通常使うほとんどのものをカバーしていると思いますが、これ以外のものを使いたい場合、高度設定における「キー出力の設定」を行って下さい(取扱説明書「D-1 キー出力の設定」参照)。

右の例では、ラジオボタン [Ctrl, Shift, Alt, WindowsKey(GUI) なし]が選択されているので、4つのチェックボックス[Ctrl]、[Shift]、[Alt]、[Windows Key]は、色が薄くなっていて選択できません。



(2) ラジオボタン[Ctrl, Shift, Alt, WindowsKey(GUI) あり]を選択すると、標準設定ウィンドウは右のようになります。この例では、4つのチェックボックス[Ctrl]、[Shift]、[Alt]、[Windows Key]が1つもチェックされていないので、[フットスイッチに書き込む]ボタンは色が薄くなっています。

例えば、Shift + a で大文字 A、Ctrl + c でコピー、Ctrl + v で貼り付けを設定することができます。

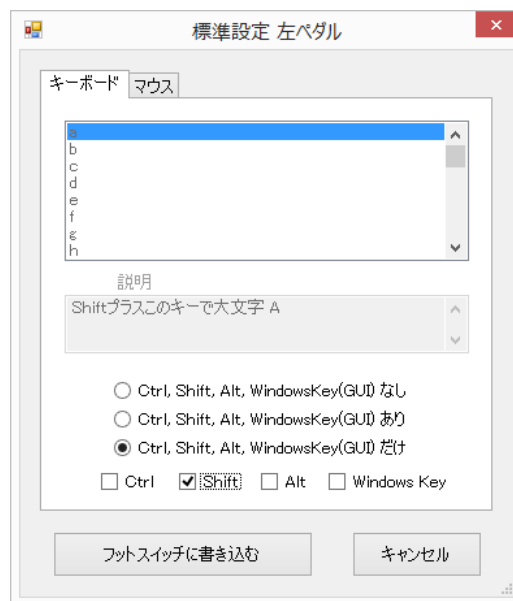


(3) ラジオボタン[Ctrl, Shift, Alt, WindowsKey(GUI) だけ]を選択すると、標準設定ウィンドウは右のようになります。ここでは、さらにチェックボックス[Shift]が選択されています。フットスイッチからキー出力はされないなので、ウィンドウ上部のリストボックスは、色が薄くなって選択できない状態です。

この場合は、Ctrl キーだけ押した状態、Shift キーだけ押した状態、あるいは、Ctrl キーと Alt キーを押した状態などを作り出すことができます。例えば、フットスイッチから Shift キーを出力し、キーボードで[A]キーを押せば、大文字の A になります。

ただし、Mac は2つの USB デバイスからの入力を組み合わせて認識することはしません。上記の例では Mac の出力は小文字の a になります。ラジオボタン[Ctrl, Shift, Alt, WindowsKey(GUI) だけ]を選択して設定したフットスイッチは、Mac では機能しません。

ここで、[フットスイッチに書き込む]ボタンをクリックすると右のメッセージが表示され、設定が正常に終わったことが伝えられます。ペダルが複数ある機種 FS1P2・FS1P3 の場合、どのペダルの設定なのかも表示されます。



C-2 マウスのクリックの設定

(1) [マウス]タブをクリックすると、標準設定ウィンドウは右のようになります。選択されたラジオボタンに応じて、左ボタンクリック、右ボタンクリック、中央ボタンクリック、または、左ボタンのダブルクリックが出力されます。

[フットスイッチに書き込む]ボタンをクリックすると、「C-1 キーボードのキーの設定」と同様、上記のメッセージが表示され、設定が正常に終わったことが伝えられます。

以上

本ガイドは標準設定まで説明しています。高度設定を行う場合、下記の取扱説明書をご覧ください。

https://www.edikun.co.jp/edikun-footswitch/edikun_footswitch_manual.pdf

